

月刊

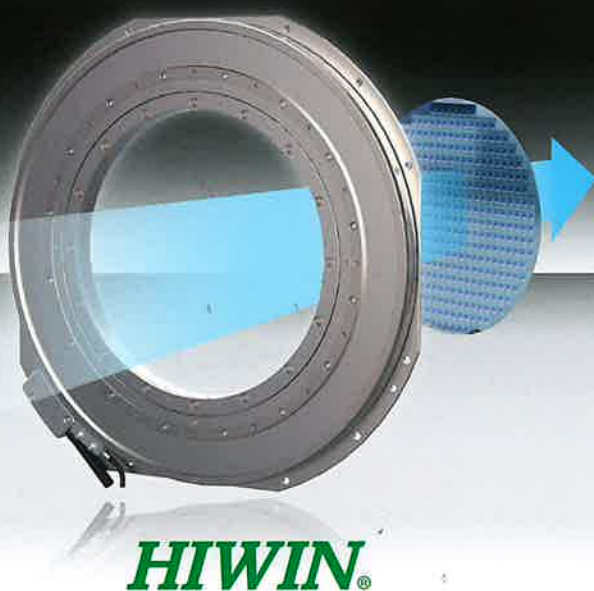
THE TRIBOLOGY

トライボロジー

2025
No.456

8

業界最薄クラスDDモーター
DMTシリーズ



HIWIN®

薄型DDモーター「DMTシリーズ」
ハイウィン

特集

試験・測定技術
機能性表面



村上 正子 さん

(株)トクビ製作所
購買部

生産システムで ものづくりの効率化に貢献

製造の管理システムを整備

私は、ポンプやその周辺機器と応用製品を開発、製造するトクビ製作所で、購買や生産管理に携わっています。

大学を卒業後、アミューズメント施設を運営する会社に入社しました。法務部を志望していたものの、想像していた仕事と現実とのギャップに違和感を覚え、転職を考えました。その後は法律事務所や幼児教育関連の仕事など様々な職を経験しました。そうするうちに、生まれ育った土地で働くことを考えて大阪府八尾市に本社を置くトクビ製作所に入社しました。

当社は産業用のプランジャーポンプの製造を中心に、高圧切替えバルブ、調圧弁、アキュムレーターなどの液体搬送機器のほか、切削加工向けの高圧クーラントを開発、製造しています。それまで製造業とはかけ離れた仕事をしてきた私は、ねじに種類があることも知りませんでした。入社後は購買部に配属されましたが、最初はとにかく色々なことを聞いて、実物を見て覚えることの繰り返しでした。購買部の業務は多岐にわたり、製品に用いる部品や社内で加工する材料の購入、板金部品など協力会社への加工手配、原価確認や仕入れ処理などを行います。また、最近では総務部の業務にも関わる機会があり、勤怠確認や給料計算、求人情報の手配などや、棚卸など、業務の幅が広がっています。未知のことを学ぶのが好きな私は、「ものづくりという知らない世界が広がっている」ことに面白さを感じました。

その中で、私が長年注力しているのが生産管理システムです。当社は販売・購買・生産管理のシステムを持っており、

私は普段、購買システムを利用して業務をしています。あるとき購買システムと生産管理システムを連携させることができれば、生産の効率化と品質向上、コストダウンに寄与できるのではないかと考えました。このシステムの連携に向け、生産管理システムに製造工程の進捗状況や在庫数を落とし込むことからスタートしました。当社の製品は特注品が多いため、管理する部品点数が膨大であるほか、外注品も多く製造の全体像が見えにくい現状があります。生産管理システムを活用することで、製造の進み具合が明確になるほか、完成数が分かることで不良品数の把握と改善に繋がると考えています。

生産効率向上に寄与

入社してから様々な生産を支える業務を経験してきたことが、このシステムを多角的な視点で見ることに役立っていると思います。

現在、生産管理システムは部分的ではありますが、製造指示書を作成できるようにし、バーコードによる工程管理ができるようになりました。さらに、システムの本格的な運用に向け、事務方や製造部署からアドバイスをもらって整備を進めているところです。将来的に各現場で端末からシステムを使えるようにするのが目標です。

当社は製造コスト面で海外に負けないような製品を提供することで、日本のものづくりの活性化に寄与することを目指しています。私は当社の製品づくりを支える黒子の立場で、日本のものづくりに貢献していきたいと考えています。